

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	組織開発 / Organization Development		
時間割コード / Course Code	E2F26004_E1		
開講所属 / Course Offered by	経済学研究科 / Graduate School of Economics		
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q		
曜限 / Day, Period	他 / Otr		
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term		
単位数 / Credits	1.0		
学年 / Year	1,2		
主担当教員 / Main Instructor	厨子 直之		
授業形態 / Lecture Form	演習		
教室 / Classroom	南紀熊野サテライト / 南紀熊野サテライト		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	経済学研究科	高度な専門性と研究力	5
		協働性と倫理性	3
		地域への関心とグローバル視点	2
担当教員名 / Instructor （担当教員所属名 / Affiliation）	厨子 直之（経済学部（教員））		
授業の概要・ねらい / Course Aims	本講義では、職場やチームを活性化させる手法である組織開発に関する理論的フレームワークと実践手法について学修する。昨今、グローバル競争が激化し、企業経営においてイノベーションが重要視される中で、組織メンバーには高度な専門性と異質な能力を主体的に発揮することが求められている。そうした個人の自律的な行動を引き出し、組織を活性化するアプローチである組織開発について、その理論的基盤を学ぶとともに、具体的に実践できるようになることがこの講義の目標である。		
到達目標 / Course Objectives	以下の3点を授業の目標として設定しています。 （１）主にミクロ組織論と関連させた組織開発に関する専門的知識の習得。 （２）主にミクロ組織論と関連させた組織開発の理論を用いて、現実の組織現象を分析できるようになること。 （３）主にミクロ組織論と関連させた組織開発の概念を用いて、論理的に対話できるようになること。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	予習課題：50% 単位認定試験：50%		
教科書 / Textbook	第1回目の講義時に指定いたします。		
参考書・参考文献 / Reference Book	Luthans, F, Youssef-Morgan, C.M. and Avolio, B.J.(2015) Psychological capital and beyond, Oxford University Press.		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	この授業は南紀熊野サテライトで開講します。オンラインもしくは現地で受講してください。 1. 日本語文献に加え、欧文文献も輪読しますので、日本語と英語の読み書きに支障がないことが履修の前提です。 2. 定量研究に基づいた文献を扱いますので、高校レベルの統計学の知識がないと単位の修得はできません。		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	人的資源管理		
授業時間外学修（予習・復習等）の内容 / Students learning outside of the class, preparation and review are included	毎回、相当量の予習課題を課しますので、予習課題の完成に向けてかなりの時間を確保することが必要です。		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

その他連絡事項 / Other messages	必ず以下を読み、了承したうえで必ず履修してください。 以下を読まずに履修して、後から不利益が生じてても一切考慮はいたしません。 １．本講義は、担当教員による一方的な講義ではありません。定量研究に基づいた文献を題材とした予習課題に基づいて、受講生によるプレゼンテーションとディスカッションを中心に講義を進めます。 ２．毎回、受講生全員に予習課題に取り組んでいただきます。予習課題が未提出の場合は、いかなる理由があっても、各回のグループワークとプレゼンテーションには参加できません（点数を与えません）。 ３．人的資源管理を受講していない場合は、この講義の内容を理解するために、人的資源管理の内容に関連する文献を別途読んでいただく必要があります。	
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	（１）自主学習 （２）反転授業 （３）グループワークをともなう学習 （４）学生による発表をともなう	
オフィスアワー / Office Hours	質問等は、以下のメール・アドレスに連絡ください。 金曜12時30分～13時、厨子研究室（西3号館412室）。 他学生との重複、出張等で不在の場合がありますので、事前に以下メール・アドレス宛てに予約を入れてください。 zushi_wakayama-u.ac.jp を@に変えてください。	
科目ナンバリング / Course Numbering	E07084J11109G525	
実務経験のある教員等による授業科目 / Practical Experience	実践的教育 / Practical Education	1. 該当しない
	実践的教育の内容 / Contents	

授業計画詳細 / Course schedule

回（日時） / Time (date and time)	主題と位置付け / Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 / Methods and contents	備考（担当） / Notes
		10/24（土）、11/28（土）、2027年 1/23（土）各日13：00-17：00に実施しま す。	
第1回	イントロダクション/組織開発とは	講義の概要と評価方法の説明，文献発表 の担当決めを行う。また，本講義で使 用するテキストの全体像について解説す	あらかじめシラバスをよ く読んでおく（10分）
第2回	組織開発に関する理論の系譜	具体的な組織開発の手法を学習する前に ，組織開発の理論的系譜についておさえ る。その際，理論が出現した背景となる 当時の企業組織の戦略や設計のあり方に 着目して解説する	「組織開発に関する理論 の系譜」に関する予習課 題を完成させる（60分）
第3回	診断型組織開発と対話型組織開発	組織開発の手法には，大きく診断型組織 開発と対話型組織開発の2種類がある。両 者の違いを整理し，特に近年のティール 組織のような柔軟な組織に適合的な対話 型組織開発の特徴について修得する	「診断型組織開発と対話 型組織開発」に関する予 習課題を完成させる（60 分）
第4回	アプリシエイティブ・インクワイアリー	個人レベルの対話型組織開発であるアプ リシエイティブ・インクワイアリーの理 論と実践について解説する	「アプリシエイティブ・ インクワイアリー」に関 する予習課題を完成させ る（60分）
第5回	対人関係とプロセス・コンサルテーショ ン	集団レベルの対話型組織開発であるプロ セス・コンサルテーションの理論と実践 について修得する	「プロセス・コンサルテ ーション」に関する予習 課題を完成させる（60分 ）
第6回	リーダーシップの新潮流：ファシリテー ション	水平方向のリーダーシップのあり方とし て近年着目されているファシリテーショ ンの理論と実践について修得する	「チーム・コーチング」 に関する予習課題を完成 させる（60分）
第7回	チーム・コーチング	集団間の関係性構築に有効なチーム・コ ーチングの理論と実践について修得する	「組織開発に関する理論 の系譜」に関する予習課 題を完成させる（60分）
第8回	全体の総括と単位認定試験	講義全体の振り返り解説と単位認定試験 を実施する	第7回目までの振り返り に関する予習課題を完成 させる（60分）